（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	エターナルプラスアカデミー志家町教室

公表日 令和7年3月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	83.3%	16.6%	個別学習机の配置を工夫することで空間を広く使えるようにしています。	活動内容に合わせたスペースわけの工夫をします。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用者数だけでなく活動内容に合わせた人員配置をして運営をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	83.3%	16.6%		トイレには段差があるため、必要に応じて改善策を講じます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	毎日の清掃を念入りに行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	66.6%	33.3%		個室はありませんが、パーテーションで区切った場所を使えるようにします。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	定例職員会議や毎日のミーティングの話し合いで業務改善に努めています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%		アンケート結果を踏まえて改善に努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83.3%	16.6%		把握した内容が業務改善につながったことを確認する機会を設けます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		外部講師のアドバイス、評価を業務改善につなげます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	外部講師による研修を月２～３回ほど定期的に受けています。	自治体主催の研修など当社が用意している研修以外にも積極的に参加することで資質向上を図ります。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	アセスメントシートを使用してご本人やご家族のニーズの把握に努め支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	毎日のミーティングなどでこどもたちの情報共有を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	100%	0%	いつでも放課後等デイサービス計画を確認できるように保管しており、支援と照らし合わせることができています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	50%	50%	毎日のこどもたちの様子を記録に取っており、気になった点等を共有しています。	記録に使用する標準化されたツールの使い方につい再度確認をします。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83.3%	16.6%		具体的な支援内容の把握を徹底します。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	83.3%	16.6%	複数の職員で計画立案し、活動プログラムの内容を毎日のミーティングで確認・修正しています。	より良い活動プログラムを提供できるように研鑽します。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	運動、外出、調理、制作をバランスよく実施するように心がけています。	より多彩なプログラムが提供できるように研究と修養に努めます。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	83.3%	16.6%		個別活動をより充実させるための計画の見直しと改善に努めます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		学休日や長期休暇などミーティング時間に限りがある場合は、次善に支援の内容や役割分担を共有することでより細やかな支援につなげます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	83.3%	16.6%	翌日のミーティングで情報共有をしています。	より細やかな情報共有に努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	サービスケア記録を作成し、支援の検証・改善に努めています。	より適切な記録を取れるように検討します。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83.3%	16.6%	定期的にモニタリングを実施しています。	必要に応じてモニタリングの時期以外でも計画の見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%		不十分な部分は改善して取り組みます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	自己選択が苦手なこどもでも自己選択できるように選択肢を与えるなど段階を踏んだ支援を心がけています。	些細なことでもいいので自己選択する場面をたくさん提供し、自信をつけてもらうことで自己決定をする力を育てていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	児童発達管理責任者が参加しています。	こどもの支援にかかわる職員の情報を収集したうえで参画していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	連絡帳や電話、送迎時などで保護者から情報提供を受けたり、送迎時に学校と情報共有をしたりしています。	学校との情報共有をより綿密に行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	16.6%	83.3%		必要に応じて対応します。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16.6%	83.3%		今までは対象となるこどもがいませんでしたが、必要に応じて対応します。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	66.6%	33.3%		積極的に連携を図ります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	公共施設等での活動機会を設けています。	必要に応じて検討します。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		協議会の開催があった場合には積極的に参加します。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	連絡帳等にその日の様子を記入し、送迎時にも情報共有をしています。	職員の保護者対応の質の向上に努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	66.6%	33.3%	年に１回外部講師による講演会・相談会を開催している。	職員が研修を受けるなどペアレントトレーニングの知識を高めていきます。また、お便りにてペアレントトレーニングについての情報を発信します。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	見学時と契約時に行い、必要に応じてお手紙等でもお知らせしています。	法改正などの変更があった際など必要に応じて説明を行います。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		こどもや家族の意を丁寧に聞き取り、放課後等デイサービス計画を作成します。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	100%	0%		意向にあった計画であると納得してもらったうえで支援に当たります。改善が必要な場合は、即座に対応します。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	随時相談支援を行っています。	電話や送迎時など日々の相談から丁寧に対応します。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	66.6%	33.3%	保護者やきょうだいが参加できる行事を開催しています。	保護者やきょうだいが参加できる行事の回数を増やします。 保護者のみの保護者会は開催していないので検討します。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情窓口を設けています。	苦情が寄せられた場合は、迅速かつ丁寧な対応をします。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	月毎の行事予定表、お便りを発行しています。ブログでの情報発信も定期的に行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	施錠できるロッカーで管理しています。	連絡帳等の誤返却、ブログ等の写真掲載にも留意します。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	16.6%	83.3%	利用者以外も参加できる講演会や相談会を開催しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを策定しており、契約時に説明しています。	ホームページ上での公表を検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	定期的（年４回）の訓練を実施しています。	定期訓練の内容を見直し、より良い訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約時の聞き取り、連絡帳での情報共有をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83.3%	16.6%	アセスメントシートに基づいて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%		定期的に研修を受け、職員で安全管理について確認をします。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	100%	0%		定期的に訓練を行い、非常時などの対応について周知・確認を徹底をします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハット報告書を作成し、内容と対応策の共有をしています。	事例を共有して改善策を講じ、再発防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	外部研修を受講し、事業者内でも職員研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明をして同意書をいただいている。	